



消防団の組織概要

令和5年4月1日現在

都道府県名	神奈川県	所在地	〒250-0192		
市町村名	横浜市		神奈川県横浜市中区山吹町2-2		
消防団事務所管	中消防署 総務・予防課 消防団係	電話番号(直通)	045-251-0119	FAX	045-251-0119
消防団名	横浜市加賀町消防団	メールアドレス	sy-naka-sy@city.yokohama.jp		

組織	分団数	4	分団	ホームページURL	https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/bousai-kyuukyuu-bohan/shobo/bosai/shobodan/shokai/05-05.html
	うち機能別分団数	0	分団	SNSアカウント	なし
	方面隊数	0	隊		
	部数	0	部	消防団活動事例・PR等	
	班数	8	班		
団員数	条例定数	135	人	<p>加賀町消防団は、明治27年5月、横浜市に3組(伊勢佐木・石川・山手)消防組が編成されたのを受けて、翌年に加賀町消防組として発足したもので、昭和23年3月7日には消防組織法の施行により消防団としてスタートしました。</p> <p>加賀町消防団は、関内、中華街、元町、新山下及び新港地区等を管内に持ち、北側はみなとみらい地区、西側はJR根岸線を隔てて伊勢佐木消防団管内と接し、南側は丘陵地を境に山手消防団管内と接し、北東側は新港地区、大棧橋、山下ふ頭等の横浜港に面し、総面積約3.3平方キロメートルを有しています。</p> <p>鉄道は、JR根岸線が南北に縦断しており、JR関内駅のほか市営地下鉄関内駅、みなとみらい線の馬車道駅、日本大通駅、元町・中華街駅が接続し、通勤・通学はもとより観光客の利用もとても多いです。</p> <p>この地域には、県庁・市庁舎をはじめ、裁判所、検察庁、税関等の主要官庁や、諸外国の領事館や商社、様々な民間企業の支社支店がひしめき、横浜市における行政・ビジネスの中心地となっています。また、中華街や元町、赤レンガ倉庫や山下公園等の市内有数の観光地を抱え、ここを訪れる観光客も多く、国際色豊かな港湾都市の一角を形成しています。</p> <p>加賀町消防団は、この街を守るため、大型イベントの警備、地域への防災指導、大規模災害を想定した訓練など、多岐にわたり活動しています。また、多くの女性消防団員が活躍しています。</p>	
	実員数	122	人		
	男性団員数	95	人		
	女性団員数	27	人		
	基本団員数	122	人		
	大規模災害団員数	0	人		
	その他の機能別団員数	0	人		
職業構成別団員数	国家公務員	0	人		
	地方公務員	4	人		
	都道府県職員	4	人		
	市区町村等職員	0	人		
	特殊法人等公務員に準ずる職員	1	人		
	農協職員	0	人		
	日本郵政グループ	1	人		
	その他	116	人		
ポンプ	普通消防ポンプ自動車	0	台		
	水槽付消防ポンプ自動車	0	台		
	小型動力ポンプ	小型動力ポンプ付積載車	4	台	
		小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)	6	台	
		手引き動力ポンプ	0	台	
年額報酬	報酬額(階級:団員)	年額	36,500	円	
	(参考)交付税単価(階級:団員)	年額	36,500	円	
出動報酬	火災	7,000	円		
	風水害等の災害	7,000	円		

※1:「消防団の組織概要等の調査」による

※2:「年額報酬」「出動報酬」の額は、令和5年4月1日現在の条例で定める額。

「出動報酬」については、日額で定めがある場合は最大額を記載。一方、日額で定めていない場合は8時間の出動に換算した額を記載。

定めがない場合又は年額支給の場合には「-」と記載。

※3:詳しくは、各市町村等のホームページ等を参照。